2010年農林業センサス農林業経営体調査調査項目の変更点(新旧対照表)(案)

1	表		紙		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	経	営	体	の	概	要		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
3	農	業	経	営	の	特	徴		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
4	世		帯		•	•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	7
5	農	業	労	働	力		•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	1 5
6	土		地		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 7
7	農	産	物	の	生	産		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	2 2
8	農	産	物	の	販	売		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	3 1
9	農	作	業	の	受	託		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3 4
1 0	都	道	府	県	設	定	項	目			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	3 8
11	山		林		•	•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	3 9
1 2	林	業	労	働	力		•	•		•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•		•	•	•		•	•	4 1
1 3	林	産	物	の	販	売		•		•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•		•	•	•		•	•	4 2
1 4	素	材	生	産		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•		4 3
1 5	林	業	作	業	の	受	託			•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•		4 4
1 6	そ	の	他		•		•	•			•	•				•		•	•	•	•	•		•	•	•				4 7

1 表 紙(指標部、住所、氏名記入欄)

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
市区町村名 調査員の方が記入する欄です。 市区町村 旧市区町村 農業集落 調査区 経営体	市区町村名 市区町村 旧市区町村 農業集落 調査区 経営体 基本指標番号	(変更なし) 市区町村又は調査員が記入する箇所と 客体が記入する箇所を明確にするととも に、調査員が記入する箇所について区分 した配置に変更
経営主の氏名又は農林業経営体の名称・代表者名 住所又は所在地 電話番号	経営主の氏名又は農林業経営体の名称・代表者名 住所又は所在地 電話番号 3 本社・支社の別について記入してください。 (該当に〇印を記入します) 単独 本社・本店 支社・支店の場合は、本社・本店の名称、所在地、電話番号を記入してください。 名称 所在地 電話番号	(削除) 本社・支社別の統計や本社と支社を集 約した統計結果の利活用がないこと、事 業所・企業統計調査結果との名寄せによ り把握が可能なため削除

2 経営体の概要

2010年農林業センサス(案)

2005年農林業センサス

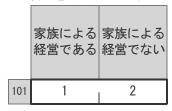
変更内容

1 家族による経営(農家又は林家)ですか。

	101
家族による経営である	1
家族による経営でない	2

1 家族による経営(農家又は林家)ですか。

(該当する番号を必ず一つ〇で囲みます)



2 経営の法人化の状況等について記入してください。

2 経営の法人化の状況等について記入してください。



(該当する番号を必ず一つ〇で囲みます)

	法	人		化	L	τ	•	い	る	地方	法
	農事	会			社	各	種団	体	その	地方公共団	化
	組	株	有	合名	相	農	森	その	の他	団体	して
	合法	式会	限会	合容	互会		林組	その他の各種団体	の法	財産	い
	人	社	社	合資会社	社	協	合	団体	人	産区	ない
10	02 01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11

(変更なし)

基本的項目として継続

※個人(家族)経営と組織経営の区分 に必要な項目

(変更なし)

基本的項目として継続

※経営体の属性を判断するために必要 な項目

3 農業経営の特徴

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変更内容
	【 2 】農業経営の特徴 1 農業経営について、家族で経営移譲や労働条件、収益の分配等について取り決めを行っていますか。 (該当する番号を必ず一つ〇で囲みます)	(削除) 法令等に位置付けられた施策上の利活 用又は、施策の企画立案に直接利用がな いことから調査対象者の記入負担を考慮 し削除
	行っている 行っていない 109 1 2	
	2 農業経営について複式簿記を記帳していますか。	
	(該当する番号を必ず一つ〇で囲みます) 記 帳 記 帳 している していない	
	3 農業経営について青色申告を行っていますか。	
	(該当する番号を必ず一つ〇で囲みます)	
	行っている 行っていない 111 1 2	

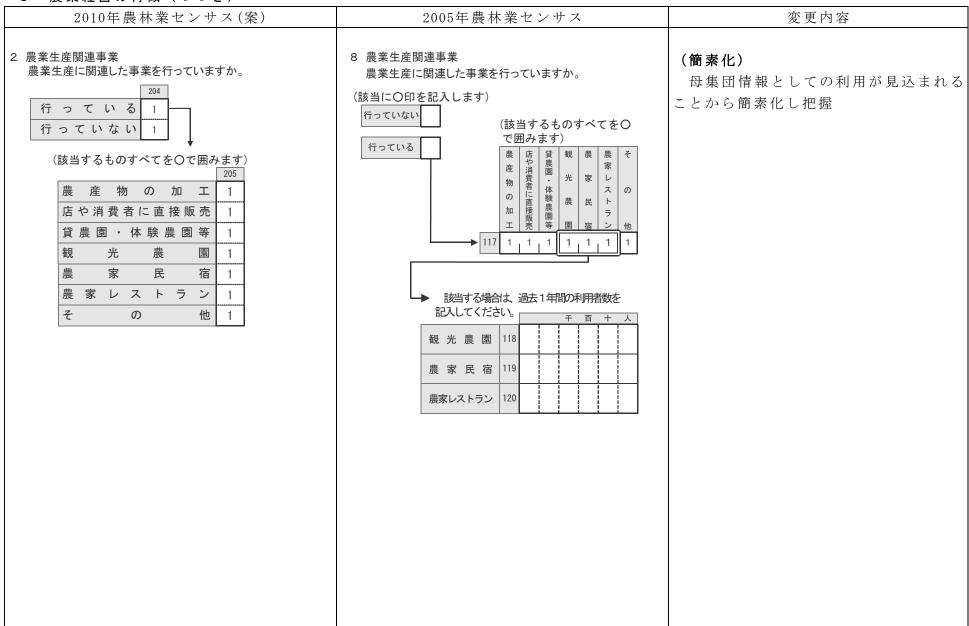
3 農業経営の特徴(つづき)

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変更内容
	4 協業経営を行っている場合は参加世帯数を記入してください。 (該当に〇印を記入します) 協業経営でない 協業経営である 参加世帯 ラ うち農家 総参加世帯数 112 うち、農(業(管理性素を含む) 113 に30日以上従事した参加世帯数 113	(削除) 法令等に位置付けられた施策上の利活 用又は、施策の企画立案に直接利用がないことから調査対象者の記入負担を考慮 し削除
	5 農業経営には、集落内に居住している概ね半数以上の世帯が参加していますか。 (該当する番号を必ず一つ〇で囲みます) 参加しているしていない 114 1 2	(削除) 集落営農組織については、毎年全数把握が必要なことから「集落営農実態調査」により母集団及び実態を把握することとし、農林業センサスの項目からは削除
	6 消費者や農産物販売業者等との契約により、農産物の生産を行っていますか。 (該当する番号を必ず一つ〇で囲みます) 行っている 行っていない	(削除) 法令等に位置付けられた施策上の利活 用又は、施策の企画立案に直接利用がないことから調査対象者の記入負担を考慮 し削除

3 農業経営の特徴(つづき)

2010年農林業センサス(案) 2005年農林業センサス 変更内容 【2】農業経営の特徴 7 環境保全型農業への取組 (簡素化) 地域の慣行(地域で従来から行われている方法) 1 環境保全型農業への取組 母集団情報としての利用が見込まれる に比べて化学肥料や農薬の使用量を減らすことや、 地域の慣行(地域で従来から行われている方 堆肥による土作りをして環境への負担を軽減した農 ことから簡素化し把握 法)に比べて化学肥料や農薬の使用量を減らす 産物の栽培(販売目的)を行っていますか。 ことや、堆肥による土作りをして環境への負担を (該当に〇印を記入します) 軽減した農産物の栽培を行っていますか。 行っていない (該当するものすべて を〇で囲みます) 行っている 化低農低堆土 行っている 学減 減 薬 取 行っていない に作 料組 ょ のみのみるり ▶ 116

3 農業経営の特徴(つづき)



4 世 帯

2010年農林業センサス(案) 2005年農林業センサス 変更内容 1 世帯員は何人ですか。 【1】世 帯 (変更なし) 基本的項目として継続 女」 ※農家人口の年齢別分布に必要な項目 世帯員の数 103 104 2 満14歳以下の世帯員(平成2104 年2月1日以降に生まれた人) は何人ですか。 2 満14歳以下の世帯員(平成7年2月1日 以降に生まれた人)は何人ですか。 女人 14歳以下の人 105 106 3 満15歳以上の世帯員(平成7年1月31日 3 満15歳以上の世帯員(平成2年1月31日 までに生まれた人)について記入してくだ までに生まれた人)について記入してくだ さい。 さい。 (削除) 調査票を電子化する際に、入力されな なまえ い項目であり、調査実施時の調査対象者 の備考的扱いだったことから、個人情報 保護の観点を考慮し削除 (1) (世帯主) 02

4 世 市(ノブラ)	0005万曲44米1-22710分	* # + #
2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
① 01 02 ② (2月1日現在の年齢) (歳) 男女別 男女別 タ 2 2	満年齢 男女別 (平成17) 年2月 1日現在の年齢 (歳) (歳) (歳) (歳) (力)を必ずの 1 2 1 2 1 1 2	(変更なし) 基本的項目として継続 ※農業労働力等の男女別年齢別分布に 必要な項目
4 世帯主との続柄 01 世帯主の名 01 世帯主の名 02 世帯 主の名 03 子 04 子の配偶者 05 世帯主のの公母 06 世帯主のの公母 07 兄弟姉妹 08 祖父母 09 孫 10 孫の配偶者 11 (上記以外)	世帯主との続柄 (下表の中から選び 世帯主の配偶者の父母、従兄弟、甥姪等) 世帯主の配偶者の父母、従兄弟、甥姪等) 一世帯主の配偶者の父母、 伊田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・	(変更なし) 基本的項目として継続 ※農業労働力の農業経営者との関係を 明らかにするために必要な項目

<u>4 µ</u>	市(ブラさ)		
	2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
自営農業に従事	従事しなかった 1 1 ~ 29日 2 30 ~ 59日 3 60 ~ 99日 4 100 ~ 149日 5 5	2005年農林業センサス 自営農業に従事した日数 経営している農業への従事日数と 委託を受けて行った農作業の日数 を合わせたもの	変 更 内 容 (変更なし) 基本的項目として継続 ※農業従事者数の判定等に必要な項目
した日数	200~249日 7 7 2 5 0 日以上 8 8	### 1 30 60 100 150 200 250 日 以 29 59 99 149 199 249 た 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
		(Alci MA
	自営農業以外の仕事状況	(削除)
	自営農業以外の仕事に 30日以上・行電 機会	調査客体の負担軽減を図るため、農業
	従事した日数 うち自営林業に従事した日数 最も日数のの含しのけ	経営に関する項目以外の項目については 削除
	(世 1 30 60 100 150 200 250 (世 1 30 60 100 150 200 250 日本 日曜間に 事事	世帯員の林業労働力を【3】世帯での
	■ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	把握から【11】林業労働力の把握に変更
	自営農業以外の仕事に 従事した日数 1 30 60 100 150 200 250 (後事しなかった 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	6 7 8 9	
	ーつを必ず○で囲みます ーつを必ず○で囲みます 該当を○ 該 当を○	
	1 2 3 4 5 6 7 8 1 2 3 4 5 6 7 8 1 2 3 1 4 5 6 7 8 1 2 3 1 1 1 2 3 1 4 1 5 6 1 7 1 8 1 2 3 1 1 1 1 2 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-
		1

2010年農林業センサス(案) 2005年農林業センサス ⑥ 従事日数が多いのはどちらですか 自営農業以外 2 1 自営農業以外 2 2	変 更 内 容 (変更なし) 基本的項目として継続 ※農業就業人口、基幹的農業従事者の 判定に必要な項目
⑥ いのはどちらですか 自営農業以外 2 2 自営農業以外 2 2	基本的項目として継続 ※農業就業人口、基幹的農業従事者の
が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	

4 世 帝(つつさ)		
2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
	1年間の生活の主な状態	変 更 内 容 (変更なし) 基本的項目として継続 ※基幹的農業従事者数の判定に必要な項目
	一つを必ず〇で囲みます 1 2 3 4 5 6	

2005年農林業センサス	変 更 内 容
Remain	変 更 内 容 (変更なし) 基本的項目として継続 ※経営主及び農業後継者の判定に必要な項目 (削除) 法令等に位置付けられた施策上の利活 用又は、施策の企画立案に直接利用がないことから調査対象者の記入負担を考慮し削除
に構成員として参加していますか。 (該当するものすべてを〇で囲みます) 機械・施切 舞び受力 協業選本 サベレーターとして従事した場合は〇印	法令等に位置付けられた施策上の利活 用又は、施策の企画立案に直接利用がな いことから調査対象者の記入負担を考慮

2010年農林業センサス(案)

4 世帯としての所得は自営農業と自 営農業以外のどちらが主ですか。

(該当する番号を必ず一つ〇で囲みます)

2005年農林業センサス

必ゅ一つ〇で囲みま									
		自営農業	自営農業以外						
	106	1	2						

4 世帯としての所得

(1) 世帯員の中で過去1年間に自営農業以外の仕事に従事した方がいますか。

い る 1

(2) 世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外のどちらが主ですか。

 自 営 農 業 1

 自営農業以外 2

5 世帯から離れて住んでいる農業経営の後継者(満15歳以上)がいますか。

(予定者を含みます)

			111
い		る	1
い	な	い	2

111

6 世帯から離れて住んでいる農業経営の後継者(満15歳以上)がいれば、その人について記入してください。 (予定者を含みます)

	満年齢	男女	大別	自	営ル	臭葉	にも	连事	した	: 日	数
		男	女	従事	1	30	60	100	150	200	250
	平成17 年2月 1日現		:	争しなか	\$	S	\$	\$	\$	S	以
	在の年	÷	: : •	った	29 =	59 =	99 =	149 目	199 日	249 日	上
	,	必	つを げ〇	_	つき	を必	ず(つで	囲み	ま	す
108		1	2	1	2	3	4	5	6	7	8

自	営農	業」	以外	^ σ.	(従)	事日	数		業と自以外で	独自に 営を行			者は
従事	1	30	60	100	150	200	250 日	日敷のは	多い方	* 3	r to	いま	すか
L	5	5	S	5	S	5		自	自	い	い	い	い
なか							以	営	一農		な		な
った	29 日	59 日	99 日	149 日	199 日	249 日	上	農業	自営農業以外	る	い	る	い
一つを必ず〇で囲みます					す	必多	を	必多	を	必多	を		
1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	1	2	1	2

(一部追加)

基本的項目として継続

簡素効率化のために、自営農業以外の 仕事に従事した者については、これまで 世帯員毎に把握していたが、経営体にお ける有無の把握にとどめるための項目を 追加

変更内容

※主副業別分類、専兼業別分類の判定 に必要な項目

(簡素化)

他出後継者の詳細な結果の施策検討で の直接利用がないことから簡略化

5 農業労働力

2010年農林業センサス

2005年農林業センサス

変更内容

【 4 】農業労働力

過去1年間に農業経営の仕事に従事した人について記入してください。

1 世帯員又は経営の責任者・役員・構成員のうち 農業経営に従事した人について男女別日数別に 実人数を記入してください。

(一世帯一経営の場合は記入する必要はありません)

		男	人		女	人
1~29日	303			304		
30~59日	305			306		
60~99日	307			308		
100~149日	309			310		
150~199日	311			312		
200~249日	313			314		
250日以上	315			316		
計						

【 5 】農業労働力

過去1年間に農業経営の仕事に従事した人について記入してください。

1 世帯員又は経営の責任者・役員・構成員のうち農業 経営に従事した人について男女別日数別に実人数 を記入してください。

(一世帯一経営の場合は記入する必要はありません)

		男	人	女	人
1~ 29日	302				
30~ 59日	303				
60~ 99日	304				
100~149日	305				
150~199日	306				
200~249日	307				
250日以上	308				
計					

(変更なし)

基本的項目として継続

※農業経営に投下した労働量を測る指標となる項目

5 農業労働力(つづき)

2010年農林業センサス

2005年農林業センサス

変更内容

2 農業経営のために常雇いした人(農業経営のためにあらかじめ年間7か月以上の契約で雇った人)について男女別に実人数と従事した日数の合計を記入してください。

		実.	人数	人		従	事日	数の	合計	日
男	323		·		324					
女	325				326					

3 日雇・季節雇など、農業経営のために臨時雇いした人について男女別に実人数と従事した日数の合計を記入してください。

		実.	人数	人		従	事日	数の	合計	日
男	333				334					
女	335				336					

2 農業経営のために常雇いした人(農業経営のために あらかじめ年間7か月以上の契約で雇った人)につい て男女別に実人数と従事した日数の合計を記入して ください。

(法人等の組織経営体で農業以外の部門に常雇いしている人が農業に従事した場合は、ここに含めないで臨時雇いとします)

		実	人数	人	従	事日	数の	合計	日
男	312								
女	313								

3 日雇・季節雇など、農業経営のために臨時雇いした人 について男女別に実人数と従事した日数の合計を記入 してください。

C (720°)			実人数 人			従	日		
	男	322							
	女	323							

4 手間替え・ゆい(労働交換)・手伝い(世帯から離れ住んでいる子供等の手伝いも含みます)の人について男女別に実人数と従事した日数の合計を記入してください。

(家族による経営の場合のみ記入してください)

		実	人数	人	従	事日	数の	合計	日
男	332								
女	333								

(変更なし)

基本的項目として継続

※農業経営に投下した労働量を測る指標となる項目

(統合)

手間替え・ゆいのみの利用が少なくなっており、臨時的な労働量把握の観点で 整理

6 土 地

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
	【3】土地 1 田 Final Curvature (関野代している田は (関野代している田は (関野代している田は (経営を委託している田を含みます) うち、他に貸している田は (経営を受託している田を含みます) うち、耕作を放棄した田は (通出 年間には作け付けます。特定代付けます。のもに付けてある田は (経営を受託している田は (経営を受託している田を含みます) 205 田の経営耕地 (202 - 203 - 204 + 205) ①	変更なし) 基本的項目として継続 ※土地利用型の経営規模を測る項目 農地集約化の量を測る項目

2005年農林業センサス 2010年農林業センサス(案) 変更内容 田の経営耕地に、過去1年間どのような作付け 田の経営耕地に、過去1年間どのような作付けをしま (簡素化) したか。 をしましたか。 基本的項目として継続するが、稲以外 (町) (反) (畝) の作物だけを作った田に作物別面積は、 (町)(反)(畝) 稲を作った田 208 (青刈り稲は除きます) 法令等に位置付けられた施策上の利活用 稲を作った田 208 うち、裏作物を作った田 209 又は、施策の企画立案に直接利用がない (二毛作した田) うち、裏作物を作った田 209 ことから調査対象者の記入負担を考慮し 稲以外の作物だけを作った田 210 稲以外の作物だけを作った田 210 (青刈り稲を含みます) 削除 何も作らなかった田(休耕田) 211 何も作らなかった田 (耕作放棄した田は除きます) (208.210.211の計は、田の経営耕地①と一致します) (208,210,211の計は、田の経営耕地①と一致します) 作物別面積(作付けのべ面積)を記入してく ださい。 (町) (反) (畝) 麦 212 大 豆 213 穀 214 飼料用作物 215 工芸農作物 216 その他 217

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
2010年農林業センサス(案) 2 樹園地(普通畑や牧草地を除きます) 「「有している樹園地 212	2 樹園地(普通畑や牧草地を除きます) ha (南) (反) (放)	変更なし) 基本的項目として継続 ※土地利用型の経営規模を測る項目 農地集約化の量を測る項目

2010年農林業センサス(案)

3 畑(牧草専用地を含み、樹園地は除きます)

			ha (町)	(反)	a (畝)
所有している畑	218				
うち、他に貸している畑	219				
うち、耕作を放棄した畑	220				
他から借り入れている畑	221				
畑の経営耕地 (218 - 219 - 220 + 221)	3				

畑の経営耕地に、過去1年間どのような作付けをしましたか。

			ha (町)	(反)	a (畝)
普通作物を作った畑	224				
飼料用作物だけを作った畑	225				
牧草専用地	226				
何も作らなかった畑	227				

(224~227の計は、畑の経営耕地③と一致します)

2005年農林業センサス

3 畑(牧草専用地を含み、樹園地は除きます)

			ha (町)	(反)	a (畝)
所有している畑は	224				
(原野化しているもの等、現況が農地でないものを除きます)				i	
うち、他に貸している畑は	225				
(経営を委託している畑を含みます)	220				
うち、耕作を放棄した畑は	226				
(過去1年間以上作付けせず、今後も作付けする考えのない畑)	220				
他から借り入れている畑は	227				
(経営を受託している畑を含みます)	221			1	
畑の経営耕地	(3)				
(224 - 225 - 226 + 227)	3				

畑の経営耕地に、過去1年間どのような作付けをしましたか。

			ha (町)	(反)	a (畝)
普通作物を作った畑 (飼料用作物だけを作った畑及び牧草専用地を除きます)	230				
飼料用作物だけを作った畑 (牧草を含みます)	231				
牧草専用地 (造成改良草地を含みます)	232				
何も作らなかった畑 (耕作放棄した畑は除きます)	233				

(230~233の計は、畑の経営耕地③と一致します)

4 総経営耕地面積

	ha (町)	a (反)(畝)
田①+樹園地②+畑③		

変更内容

(変更なし)

基本的項目として継続

※土地利用型の経営規模を測る項目 農地集約化の量を測る項目

(削除)

これまでチェックに用いる項目として 設定していたが、客体の負担軽減の観点 から削除

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変更内容
4 耕地以外で採草地や放牧地に利用した土地山林、原野等で過去1年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。	5 耕地以外で採草地や放牧地に利用した土地山林、原野等で過去1年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。	(変更なし) 基本的項目として継続 ※土地利用型の経営規模を測る項目
5 ハウス・ガラス室 過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室の面積を記入してください。 (a) m ハウス・ガラス室の面積 251	6 施設園芸 過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室 の面積を記入してください。 (a) m ハウス・ガラス室の面積 251	(変更なし) 基本的項目として継続 ※施設経営の規模を測る指標

7 農産物の生産

2010年農林業センサス(案)

2005年農林業センサス

変更内容

【6】農産物の生産

過去1年間に販売目的で作付けた作物の作付け(栽培)のべ面積を記入してください。 (けい畔は含めません)

				ha (町)	(反)	a (畝)
	水 稲	402				
稲	陸稲	403				
麦	小 麦	405				
九任	大麦・裸麦	406				
雑穀	そば	407				
	その他の雑穀	408				

()	原米	4用ば	れい	しょ	410			
ŧ	食月	用ば∤	いいし	ノよ	411			
類	か	6	し	ょ	412			

豆	大		豆	414			
	あ	ず	き	415			
類	そ	の他の豆	2 類	416			

【6】農産物の生産

1 販売目的で作付けた作物

過去1年間に販売目的で作付けた作物の作付け (栽培)のべ面積を記入してください。(けい畔は含め ません)

				ha (町)	(反)	a (畝)
稲	水 稲	40 1				
	陸稲	402				
麦	小 麦	403				
雑	大 麦 ・ 裸 麦 (ビール麦を含む)	406				
榖	その他の雑穀	408				

(その他の雑穀は、そば、ひえ、とうもろこしの合計を記入してください。未成熟とうもろこし、スイートコーンなど)は除きます)

い ばれいしょ 409 も か ん しょ 412 類 (さつまいも) 412				ha (町)	(反)	a (畝)
が ん し ょ 412 (さつまいも) 412	いばれいしょ	409				
	か ん しょ(さつまいも)	412				

				ha (町)	(反)	a (畝)
豆	大 (実とりのみ)	413				
	()	417				
類	その他の豆類	418				

(その他の豆類は、あずき、らっかせい、そらまめ、いんげん、ささげなどの合計を記入してください)

(一部追加)

基本的項目として継続

そば、原料用ばれいしょ、食用ばれい しょ、あずきについては北海道に限定し た項目であったが母集団情報(作物統計 調査、農業経営統計調査)として必要な ことから新たに設定

※品目横断的経営安定対策の対象品目 との関係を明らかにする項目

7 農産物の生産(つづき)

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
工芸農作物 417 どのような品目を作付け又は栽培しましたか。 さとうきび 418 1 てんさい 421 1 たばこ 419 1 こんにゃくいも 422 1 茶 420 1 その他の工芸農作物 423 1	は こ 426 芸 茶 (栽培面積) 427	(簡素化) 客体の負担軽減及び施策検討等での利用が少ないことから、工芸農作物の合計面積に変更母集団情報として必要なことから作付けした工芸農作物の有無を把握品目横断的等経営安定が、と「てんさい」を新たに設定

7 農産物の生産(つづき)